

平成 24 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 25 年 1 月 20 日(日)13:00～13:15
議 題	拠点文化施設の施設規模等及び基本計画の中間報告について
出席者	高島市長, 山崎副市長, 渡邊副市長, 大野副市長, 総務企画局長, 財政局長, 経済観光文化局長, 住宅都市局長, こども未来局長 ほか
決定事項	<p>○拠点文化施設の施設規模について 大ホールは, 市民会館大ホールの役割を継承するとともに, 国内のホールツアーに対応できるように東京など主要都市と同様の規模とし, 大1800～2000席程度とする。中ホールは, 市内に不足する中ホールに対応するとともに, 少年科学文化会館ホールの一部利用の受け皿とするため, 中800席程度とする。あわせて, 練習室等についても一体的に整備する。</p> <p>○拠点文化施設基本計画の議会への中間報告について 「これまでの経緯と文化ホールの体系的な考え方」(別紙1)及び「拠点文化施設について」(別紙2)を平成25年当初議会に報告する。</p>
主な意見	<p>○市の財政状況が厳しい中、拠点文化施設とサンパレスの同時運営は過大な財政負担となる。 基本計画を策定する中で、サンパレスのあり方について方針を決定し、大ホールの規模についてもサンパレスの検討とあわせて決定していただきたい。</p> <p>○拠点文化施設において、広く、鑑賞や発表の場を提供し、舞台芸術に親しむ機会を充実させること、また、鑑賞・体験事業や文化芸術情報の収集、記録・保存を行うことは、様々な文化芸術に触れ、体験し、創造力や感性を高め、多様な価値観やコミュニケーション能力を身につけることができるなど、子どもの健やかな成長にも寄与するものとする。</p>

○少年科学文化会館の再整備においては劇場型多目的ホールは整備しないこととしており、これまで少年科学文化会館ホールが果たしてきた役割も踏まえ、その利用の一部を代替できる中規模ホール機能を拠点文化施設において整備することが必要である。

○拠点文化施設の須崎公園地区への整備については、天神地区とウォーターフロント地区をつなぐ拠点としての機能強化や都心部の回遊性の向上、北天神全体の活性化など、福岡市のまちづくりに寄与する重要な事業であると認識しているが、須崎公園内に整備する場合には、配置や建築計画、仕様等について、公園と調和した最良案となるよう、引き続き協議をお願いしたい。